

ほかほかタイム

第7回目の「ほかほかタイム」は、日光市職員、川村多喜男様をお招きして、お話を伺いました。



私は、「オアシス今市」というところで仕事をしています。オアシス今市は、みんなが住んでいる町を元気にするお手伝いをしているところです。これを町の活性化構想といいます。一つ目は、町がこれから元気になるきっかけとなる仕事をしているので、それを紹介します。二つ目は、町が元気であるためには人と人のつながりが大切である。ということをお伝えしたいと思います。（日光市内の春日町の写真を見せる。明治時代の住吉町、今市の町の中で一番古い、今市ができて300年たった頃の写真、今市は昔宿場町だった。東照宮に行くための・・宿がいっぱいあった。そうして栄えてきた。）年々人工は少なくなってきた。とおりを歩く人も少なくなってきた。まちに元気がなくなってきた。中心市街地活性化基本計画をたくさんの方の意見を取り入れてまとめた。町が元気になるように計画をしているいろいろな事業をやっていきましょうというものです。60の事業をやっています。道路を作ったり、公園を作ったり、そのなかのひとつを紹介したいと思います。御倉町周辺整備事業がそのひとつです。化マシンの向き吾川の風景・・いま、ここを工事しています。たくさんの建物が建っています。来年の春になると完成します。中心市街地集客拠点施設といいます。これからの会議で愛称が決まることになっています。コンビニエンスストアや船村徹記念館ができます。多目的ホール、商業施設、広場、駐車上ができる。多目的ホールは電動で稼働になる観覧席が設けてある。演奏会もできるし、椅子を片付ければ展示会場になる。商業施設では野菜やお土産売り場、レストラン、ケーキ屋さんもある。他にも約10個のお店屋さんが入る予定。町全体が元気になるようなきっかけ作りの施設。今市の町は400年間続いてきた。これからも住みやすい町になるように整理しているところ。来年の春オープン。是非起こしてください。いろいろなイベントをしたい。2つめ、町中ではいろいろなイベントをしている。焼きそば祭、屋台祭、jr駅前ではイルミネーションの点灯をしている。お祭りは、ひとつひとつがつながるきっかけをもとめて始まったといわれている。みなさんもイベントに参加していただきたい。11月3日に今市の町の中を食べ歩くイベントを行った。そのときは、今市の町の中がすごく賑わった。イベントを企画した人は、歩きたくなる町づくり委員会のみなさんです。こちらの写真のようなお兄さんお姉さんが作ったイベントです。お兄さんお姉さんは町中に住んでいる人たちです。まちなかに住んでいる人たちがともだちをさそいあって、この委員会を立ち上げました。

たくさんの写真をスライドに映しながら、素敵なお話を聞かせていただきました。子ども達は、楽しく、真剣に話を聞いていました。6年生の感想が、裏面に載せてありますので、ご覧ください。

今年度の「ほかほかタイム」は、終了となります。講師の先生方、お世話になりました。

キ リ ト リ
保護者の皆様から、御意見・御感想がありましたら、お寄せください。

担当：岡本

)

